<<　令和7年度　具体的な指標の達成状況　>>

資料１

（基本方針1）　脱炭素社会の実現に向けた都市づくり

表1-2-1　再生可能エネルギーの普及促進

No.	指標名	単位	目標値（目標年）	R7目標達成	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	実績値 R7	説明	実績値根拠等
1	太陽光発電設備設置件数	件/年	35（R8）	○	113	122	81	69	2020(R2)年度を基準として約5割増を目指します。 2020年実績：23件/年	経済産業省の固定価格買い取り制度のＨＰを参照。 「Ｂ表　市町村別認定・導入量」の新規認定分の前年度からの増加数を記載。

※No.１　設置件数の実績値には、住宅以外の太陽光発電設備の設置件数もカウントされていることから、目標値の変更を検討

表1-2-2　地球温暖化防止に向けた取組みの推進

2	越前市の二酸化炭素排出量	千t-CO2	1037.2（R8）	×	1230.3（R2）	1538.4（R3）	1358.6（R4）	1221.3（R5）	2018(H30)年度を基準として基準年比29%削減を目指します。 2018年実績：1,460.8千t	排出量算定表に基づき「産業」「民生業務」「民生家庭」「運輸」「廃棄物」各部門の排出量を算出し、合算したものを記載。
3	市施設におけるエネルギー消費原単位削減率（学校・公民館等を除く）	%	94（R8）	×	101.3	110.7	101.8	118	2020(R2)年度を基準100として毎年１%の削減を目指します。	省エネ法に基づき毎年提出している「定期報告書」で算出するエネルギー消費原単位をもとに算出。
4	電気自動車・燃料電池自動車補助件数	件/年	20（R8）	○	55	40	27	24	2020(R2)年度を基準として倍増を目指します。 2020年実績：10件/年	次世代自動車振興センターでの補助件数を記載。（同センターへの問合せ結果）

※No.４　太陽光発電の設置件数同様、目標値の変更を検討

（基本方針2）　水や空気がきれいな安心安全が実感できるまちづくり

表1-2-3　生活環境の保全推進

5	汚水処理人口普及率		%	96（R17）	×	94.9	95.0	95.1	95.3	「越前市下水道整備基本構想」の目標に合わせて取り組みます。	上下水道課への照会結果を記載。 下水道、農業集落排水施設等、浄化槽等の汚水処理施設の整備人口を総人口で除して算出した率を記載。
6	市内主要河川水質調査の環境基準値達成率	生活環境項目	%	95（R8）	○	95.8	97.7	96.4	96.4	各調査地点において、環境基準の達成を目指します。	環境基準適用河川の総検体数（地点数×項目数×実施数）に対し、基準適合数の割合を算出。
		健康項目		100（R8）	○	100.0	99.3	100.0	100.0		
7	汚染（有機溶剤）区域内地下水質の環境基準達成率		%	100（R8）	×	92.9	100	96.4	96.3	全ての監視井戸において、環境基準の達成を目指します。	（継続）地下水概況調査及び継続監視調査フォルダに格納される「◆県定期モニタリング結果（Ｈ１１～）」に記載のデータを抽出。

表1-2-4　廃棄物の適正処理の推進

No.	指標名	単位	目標値（目標年）	R7目標達成	実績値				説明	実績値根拠等
					R4	R5	R6	R7		
8	不法投棄ごみ回収量	kg/年	2000 (R8)	○	1,950	2,230	2,110	1,670	2020(R2)年度を基準として約2割減を目指します。 2020年実績：2,450kg/年	各年度のシルバー人材センターの不法投棄パトロール実施から記載。

（基本方針3）　コウノトリが舞う自然豊かなまちづくり

表1-2-5　生物多様性の保全

9	森林施業面積	ha/年	60 (R8)	×	65	25.6	43.3	34.4	年間60ha以上の施業面積を目指します。	農林整備課への照会結果を記載。 民有林造林事業実施面積（間伐等）
10	里山の森林づくりボランティア参加人数	人/年	350 (R8)	×	343	388	373	244	「越前市総合計画実践プログラム」の目標に合わせて取り組みます。	農林整備課への照会結果を記載。 安養寺薪割り倶楽部が中心となって活動している里山再生活動の参加者の人数

表1-2-6　環境調和型農業の推進

11	県認証特別栽培農産物①を含む有機栽培農産物の作付面積	ha	417 (R11)	×	[越前市食と農の創造ビジョン」改定前のためデータなし	326	312	「越前市食と農の創造ビジョン」に沿って取り組みます。	農政課への照会結果を記載。 環境保全型農業直接支払交付金の管理データ（筆データ）での二毛作を除いた栽培面積を記載。
12	全耕地面積における作付面積の割合	ha [%]	2800 [80%] (R11)	○	[越前市食と農の創造ビジョン」改定前のためデータなし	2897 [80%]	2888 [80.4%]	「越前市食と農の創造ビジョン」に沿って取り組みます。	農政課への照会結果を記載。 環境保全型農業直接支払交付金の管理データ（筆データ）での二毛作を除いた栽培面積を記載。
13	有機JAS認証を含む県認証特別栽培農産物①～④作付面積（コメ）	ha	473 (R11)	×	[越前市食と農の創造ビジョン」改定前のためデータなし	369	376	「越前市食と農の創造ビジョン」に沿って取り組みます。	農政課への照会結果を記載。 環境保全型農業直接支払交付金の管理データ（筆データ）での栽培面積を記載。

（基本方針4） 資源が循環するごみの少ない都市づくり

表1-2-7　3Rの推進

No.	指標名	単位	目標値（目標年）	R7目標達成	実績値				説明	実績値根拠等
					R4	R5	R6	R7		
14	家庭系ごみ排出量（市民１人１日当たりのごみ排出量）	g/日・人	562（R8）	○	583	552	543	541	2019（R1）年度を基準として、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき基準年の成果を維持します。	各年度の定期収集のごみ回収量を各年１０月１日時点での人口および日数で除算して算出。
15	ごみのリサイクル率	%	22.9（R8）	×	18.7	19.1	19.1	18.4	2019（R1）年度を基準として、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき基準年の成果を維持します。	各年度分ごみ総排出量調べデータから記載。
16	古紙の集団回収実施団体数	団体	161（R8）	×	142	138	142	136	2019（R1）年度を基準として、基準年の成果を維持します。	各年の資源回収奨励金の実績から記載。
17	下水汚泥の資源化率	%	100（R8）	○	100	100	100	100	「越前市下水道整備基本構想」の目標に合わせて取り組みます。	上下水道課への照会結果を記載。 Ｒ４年度の下水道汚泥２，００８ｔ全てを有機肥料化、又はセメント原料化している。 内訳：約６割(1,145.99t)をコンポスト化による有機肥料、約４割(862.42t)をセメントの原料としている。

表1-2-8　食品ロス削減、使い捨てプラスチックごみ対策

18	フードドライブ実施回数	回/年	4（R8）	○	2	4	4	4	2019（R1）年度を基準として、倍増を目指します。 2019年実績：2回/年	各年のフードドライブ結果まとめ資料から記載。

（基本方針5） 環境共育で環境を守り育むまちづくり

表1-2-9　人材育成の推進

No.	指標名	単位	目標値（目標年）	R7目標達成	実績値				説明	実績値根拠等
					R4	R5	R6	R7		
19	環境教育提供総時間数（小学生）	時間/年	27.2（R8）	○	27.2	27.2	27.2	27.2	2020(R2)年度を基準年として、基準年の成果を維持します。	学校教育課への照会結果を記載。 学習指導要領に基づく各教科での環境に関する学習時間を記載。
20	環境教育提供総時間数（中学生）	時間/年	20.9（R8）	○	20.9	20.9	20.9	20.9	2020(R2)年度を基準年として、基準年の成果を維持します。	学校教育への照会結果を記載。 学習指導要領に基づく各教科での環境に関する学習時間を記載。
21	環境学習実施率 （幼稚園・保育園・認定こども園）	%	100（R8）	○	100	100	100	100	全園での開催を維持します。	環境学習会の実績報告まとめから記載。 幼稚園：６園、保育園：４園、認定こども園：１９園、小規模保育事業所：２園
22	公民館、地区が開催する環境学習会	回/年	102（R8）	×	459	94	47	83	各地区平均6回以上開催します（6回×17地区）。	生涯学習・芸術文化課への照会結果を記載。 各公民館の事業報告から環境学習会（自然環境、食育）の回数を記載。
23	同　　参加者数	人/年	1020（R8）	○	4,140	1,142	901	1,442	環境学習会1回当たりの参加者を10人程度とします（10人×102回）。	生涯学習・芸術文化課への照会結果を記載。 各公民館の事業報告から環境学習会（自然環境、食育）の参加者数を記載。
24	市政出前講座（ごみの分け方）実施回数	回/年	30（R8）	×	18	19	28	26	2019（R1）年度を基準として、5割増を目指します。 （幼稚園・保育園・認定こども園）	環境政策課での受付・実施記録から回数を記載。
25	エコビレッジ交流センターを活用した 環境学習会参加人数	人/年	3500（R8）	×	2,552	2,773	2,576	2,413	環境学習会参加者を毎月300人程度とします。（約300人/月×12ヶ月）	エコビレッジ交流センターからの事業進捗報告書から記載。（主催事業計人数を記載）

表1-2-10　環境保全団体との連携・協働の促進

26	ごみ減量化・リサイクル推進団体数	団体	5（R8）	○	1	1	1	1	年間1団体以上の認定を目指します。	環境政策課での認定実績から記載